

審査意見(一次審査)への対応を記載した書類

【城西大学】

＜教育課程審査＞

- ① 教育学概論Aのシラバスについて、全体的にコアカリキュラムの内容を含んでいることが判然としないため、明確にすること。

(対応)→	・「教育学概論A」のコアカリキュラムに対応していることが明確にわかるように、シラバスのなかの「授業計画」の箇所を修正した。(シラバス添付)(p1-2)
-------	---

- ② 特別支援教育のシラバスについて、コアカリキュラム(2)2)を取り扱っていることが判然としないため、授業計画において取り扱っていることを明確にすること。

(対応)→	・「特別支援教育」のシラバスについて、コアカリキュラムの(2)2)の自立活動について内容を見直し、第3回に個別の指導計画と関連付けて位置付けた。また、その旨をシラバスにも記載し取り扱うこととした。(シラバス、コアカリキュラム添付)(p3-5)
-------	---

- ③ 教育方法及びICT指導法のシラバスについて、情報通信技術を活用した教育の理論及び方法に係るコアカリキュラムに対応していることが判然としないため、授業計画において全体的に明確に記載すること。(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法コアカリキュラム(1)3)、(2)4)等)

(対応)→	・「教育方法及びICT指導法」の到達目標の項目のバランスと授業の進行を再考した。それに従い、コアカリキュラムとシラバスの対応を明確にするとともに、対応するコアカリキュラムの見直しを図り、シラバスにはコアカリキュラムの項目に対応する文言を追記した。(シラバス、コアカリキュラム添付)(p6-10)
-------	---

- ④ 生徒指導（進路指導の理論及び方法を含む）のシラバスについて、シラバスの内容がコアカリキュラムに対応していることが判然としないため、コアカリキュラムに対応していることが明確に分かるよう内容等を検討すること。

(対応)→	・「生徒指導（進路指導の理論及び方法を含む）」のコアカリキュラムに対応していることが明確にわかるように、とくにシラバスのなかの「授業計画」の箇所を全面的に書き改め、コアカリキュラムの例示のほぼ順番どおりに進め、全13回の講義となるように修正した。また参考資料も更新した。（シラバス、コアカリキュラム添付）(p11-16)
-------	--